

古道を訪ねて③⑥

巡礼道 (勝尾寺・総持寺) ⑧



椿本陣を過ぎて東へ50mほど進むと、道が2つに分かれます。左に曲がる道が「西国街道」、直進する道が「茨木街道」です。

ここには道標が3基建てられています。向かって右の道標には「右茨木停車場／そうぢじ／道」の文字があります。明治10年、京都・神戸間に鉄道が開通し、茨木に停車場(駅)が設置されたので、この道標はその頃に建てられたと考えられます。



右の道標

中央の道標には「左かちをう寺／西国道」と刻まれています。建てられている方向が違っており、他の場所から移転されたと推測されます。左端のものは、背の低い他の2基(約65cm)とは違って約130cmあります。明治36年に大阪府によって建てられたもので、正面に「茨木街道 → 茨木 三島江 枚方道」とあり、右へ行く道が茨木街道であることを教えてくれます。ここから、巡礼道は西国街道と分かれて茨木街道と合流します。



▲中央の道標



▲左の道標

橋を渡ってさらに南東方向に進み、再度国道171号を渡り、三咲町に入ります。(巡礼道と交差する部分には信号がないので、歩かれるかたは約100m北東の信号のところまで横断してください)。国道を渡ったところには、茨木市内でもっとも古い寛政9(1797)年の年号のある道標がありますが、詳細は次回に紹介します。

「郡山」、「郡」と旧道の面影を残す道を約800m進み、郡4丁目19番付近にさしかかるところで、巡礼道は茨木街道から分かれます。左折する細い道が巡礼道で、茨木街道は直進する太い道です。左折して200mほど進み、突き当たりを右に曲がり、100mほど進んだ所の十字路を左に曲がり、国道171号を越えたと勝尾寺川の堤防に出ます。南東方向に進むと2つ目の「巡礼橋」があります。

北
▲

